

成績評価

1 成績評価方法

単位の認定方法及び成績の評価方法は、各種試験、発表、レポート、成果物、グループワーク、授業態度、実習及び演習などから、教員がその科目の特性を考慮して決定します。

各授業科目の成績は S(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(不可)の5段階で評価し、C 以上の取得によって合格とします。授業科目の成績の評価に係る各種試験を受けない、レポートを提出しないこと等により評価を判定できない場合は、当該評価は K(放棄)となります。

表 Grade Point と評価・評点の対応表

評価	評価基準	評点
S(秀)	到達目標を達成し、極めて優秀な成績をおさめている	90 点以上
A(優)	到達目標を達成し、優秀な成績をおさめている	80 点以上
B(良)	到達目標を達成している	70 点以上
C(可)	到達目標を最低限達成している	60 点以上
D(不可)	到達目標を達成していない	59 点以下

2 成績発表

授業を受けた学期の成績が、S、A、B、C、D(不可)又は「放棄」のいずれにも確定できなかった授業科目は、その授業科目の単位認定が保留されることがあります。保留となった授業科目の単位認定を希望する場合は、必ず次の学期の当初に担当教員に申し出て指示を受け、学期末までに再試験又は課題提出等を行わなければなりません。その結果をもって、担当教員が達成度を再評価し、成績が確定することとなります。

3 追試験

疾病、事故、交通機関の遅延その他やむを得ない事由により試験等を受けることができなかった学生は、指定する期日までに追試験願を学務課に提出し、当該授業科目の担当教員の許可を得て追試験を受けることができます。疾病が理由の場合は医師の診断書を、その他の理由の場合

合はやむを得ない理由を証明する書類も併せて提出してください。追試験の日程及び実施方法は、成績発表後に担当教員から指示があります。

4 成績評価に対する異議申立て

成績評価について、学生は次のいずれかに該当する場合に限り、異議を申し立てることができます。

- 成績の誤記入等、明らかに担当教員の誤りであると思われる場合。
- シラバスや授業時間内での指示等により周知している達成目標や成績評価の方法から、明らかに逸脱した評価であると思われる場合。

5 再試験

D(不可)となった学生の再試験は、原則として行いません。ただし、学部長及び当該授業科目の担当教員がやむを得ないと認めた場合には、再試験を行う場合があります(要手数料)。再試験の日程及び実施方法は、成績発表後に担当教員から指示があります。

6 成績の通知

当該学期末に確定した成績及び履修した全ての科目の成績を記した成績通知表を、学生ポータルサイトから学生に通知するとともに、成績通知表を保証人に送付します。

7 GPA (Grade Point Average) 制度

本学では単位の実質化や教育の質の保証を目的として GPA(Grade Point Average)制度を導入します。この制度を用いることで、学生が主体的かつ具体的に成績到達目標を設定することができるようになり、学習計画段階から授業への意欲を高めることが可能となります。なお、GPA は次に示す式を用いて算出します。各 GP(Grade Point)及び評価基準は表のとおりです。

$$\text{GPA} = \frac{(\text{履修した科目の GP} \times \text{その科目の単位数})\text{の合計}}{\text{履修登録単位数の合計}}$$

表 Grade Point と評価・評点の対応表

GP(Grade Point)	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0
評価	S(秀)	A(優)	B(良)	C(可)	D(不可)